

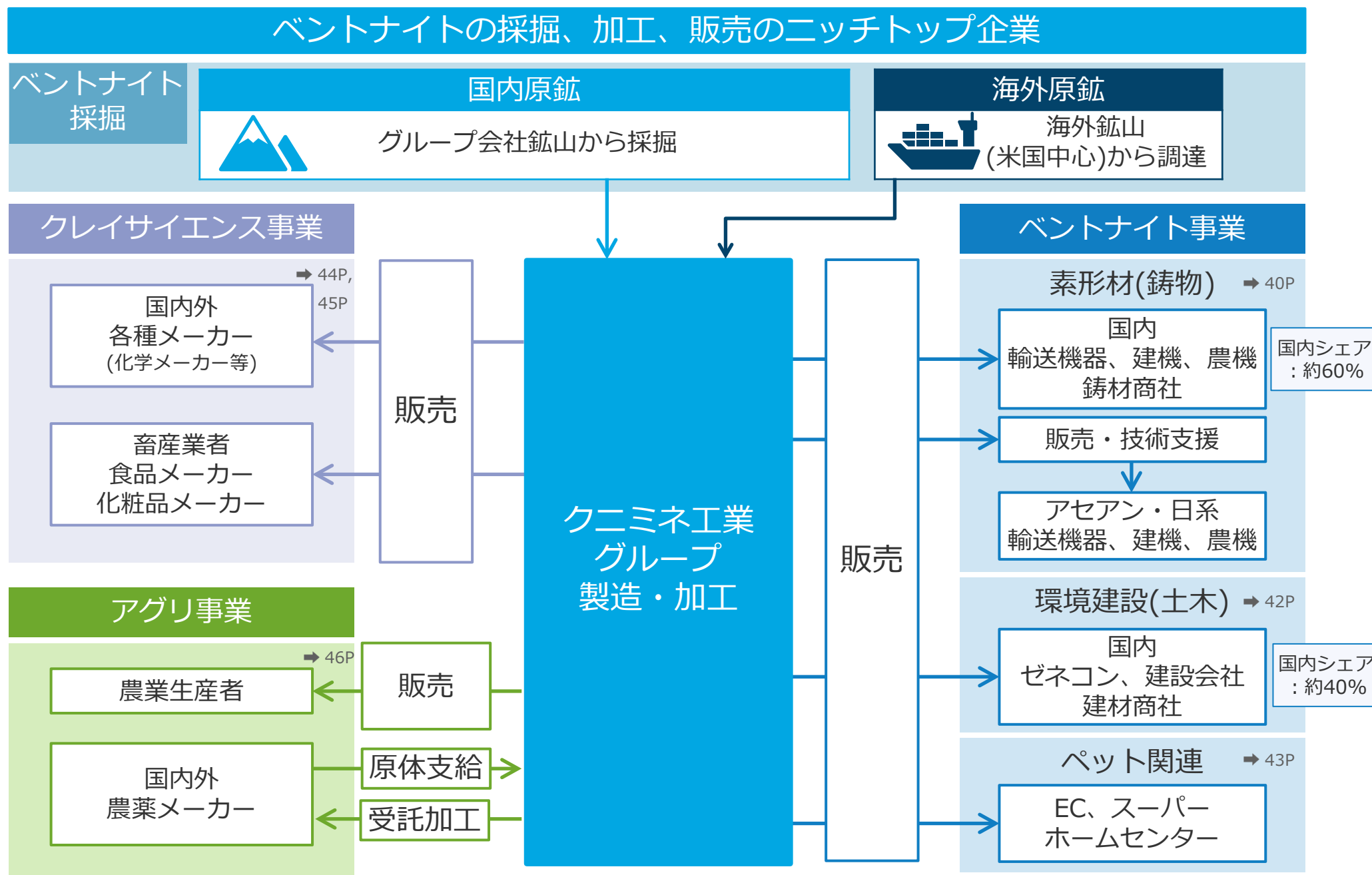
2025年3月期 決算説明資料

2025年6月11日

 **クニミネ工業株式会社**
スタンダード市場 証券コード：5388

当社ビジネスモデル・事業目的

当社ビジネスモデル



当社事業目的及び売上高構成比

■ 当社事業目的

『資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する』

当社グループは、貴重な地下資源である「ベントナイト」の採掘・製造・販売事業のほか、ファインケミカル、ライフサイエンス、化粧品の各分野で研究開発を推進するクレイサイエンス事業、農業分野に貢献するアグリ事業を展開しております。未来のニーズを創造することで、お客様に新しい価値を提供し続けます。

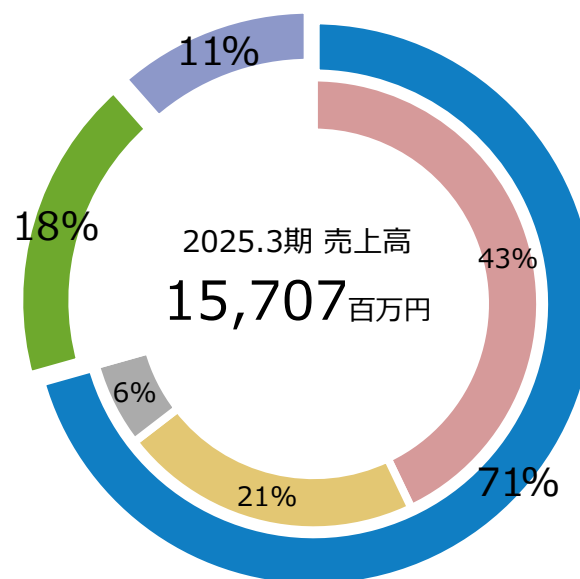
■ 事業別売上高構成比

クレイサイエンス事業：11%

粘土素材を科学することで、貴重な地下資源から持続可能な価値を創造し、既存領域の拡大と新規事業の創出を推進

アグリ事業：18%

農薬粒剤の生産活動を通じて食の安定供給に貢献し、農業分野の多様なニーズに対応



ベントナイト事業：71%

モンモリロナイトを主成分とする粘土鉱物を加工し、膨潤性・増粘性などの特性を活用して、様々な事業分野に展開

素形材分野

耐熱特性に応じた製品、体系化した技術を通じて、素形材産業にソリューションを提供

環境建設分野

土と水にイノベーションを起こし、地球環境問題に貢献

ペット関連分野

ペットとの暮らしに快適さを与え、社会に癒しと笑顔を創造

1 2025年3月期 業績トピックス

2 2025年3月期 決算概要

3 2026年3月期 業績予想

4 中期経営計画の状況

5 当社を取り巻くマクロ環境

1/5

2025年3月期 業績トピックス

代表取締役社長 國峯保彦

2025年3月期 決算業績トピックス

売上高	営業利益	経常利益
15,707百万円 +0.2%	1,280百万円 +4.0%	1,583百万円 ▲3.7%

%：前期比

グループ全体

- 増収・営業利益増加
販売数量は減少となるが、価格改定効果や高付加価値製品への注力により売上微増・営業利益増加
経常利益は前期に為替差益を計上した反動減で減益

ベントナイト

- 減収減益
主要得意先の減産、一般土木工事が低調に推移

クレイサイエンス アグリ

- 増収増益
価格改定効果・アグリの新製品伸長

2/5

2025年3月期 決算概要

取締役経営戦略部長 高田裕二

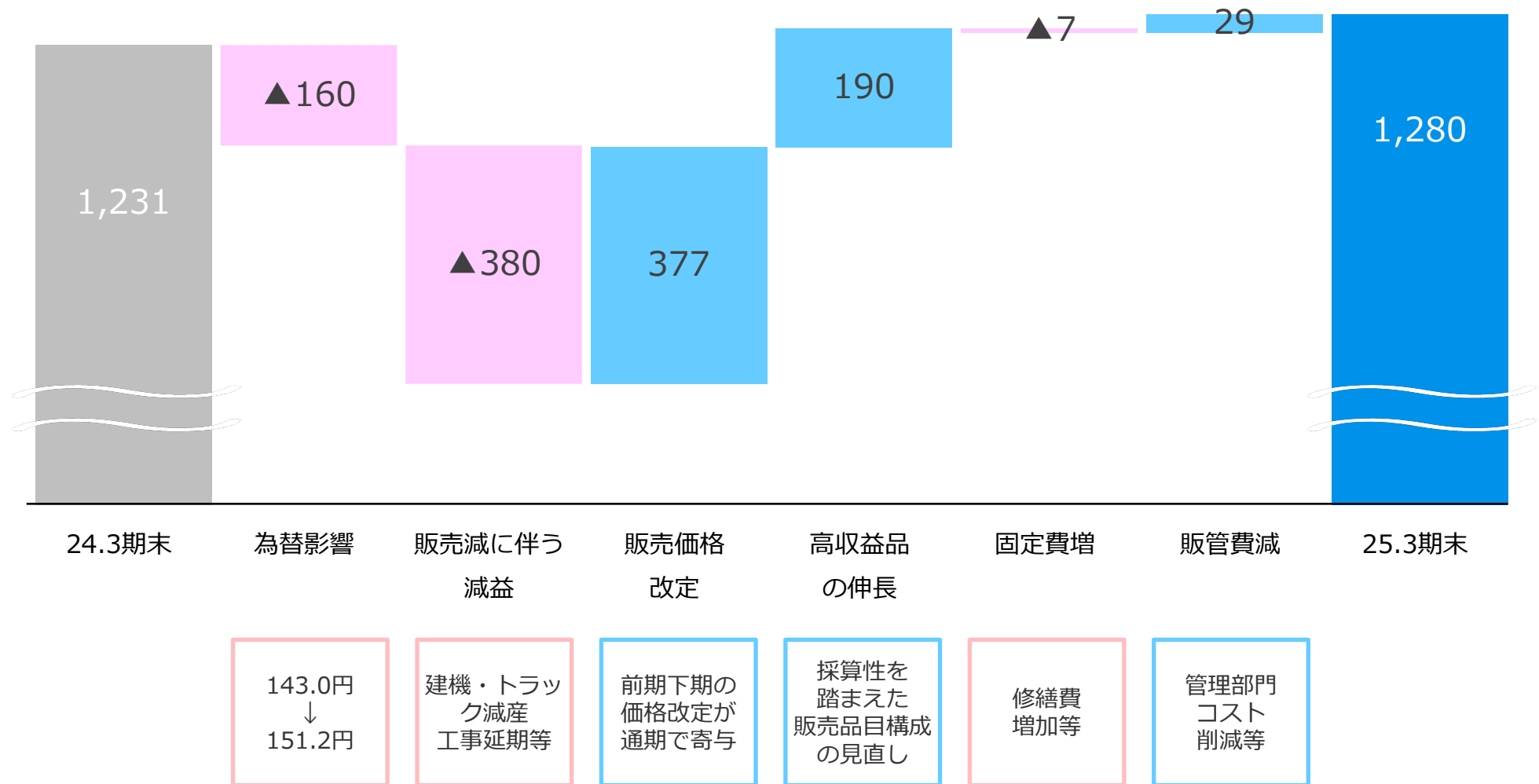
2025年3月期 決算概要

- 販売数量は減少となるが、価格改定効果や高付加価値製品への注力により売上微増・営業利益増加
- 経常利益は輸入原鉱決済に保有外貨建資産を活用したが、今期は為替差損が発生（24.3期為替差益95百万円→25.3期為替差損11百万円）

(百万円)	2024年 3月期	2025年 3月期	前年同期比	2025年 3月期計画	計画比
売上高	15,675	15,707	+0.2%	16,300	▲3.6%
営業利益	1,231	1,280	+4.0%	1,380	▲7.2%
経常利益	1,644	1,583	▲3.7%	1,560	+1.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,043	1,078	+3.3%	1,037	+4.0%

24.3期→25.3期 営業利益増減要因

(百万円)



事業別業績概要

(百万円)		24.3期	25.3期	前年 同期比	概要
事業別 売上高	ベントナイト	11,329	11,094	▲2.1%	ベントナイト
	クレイサイエンス	1,642	1,808	+10.1%	
	アグリ	2,703	2,804	+3.7%	クレイサイエンス
	合計	15,675	15,707	+0.2%	
事業別 営業利益	ベントナイト	1,387	1,074	▲22.5%	アグリ
	クレイサイエンス	43	181	+318.2%	
	アグリ	400	553	+38.1%	アグリ
	合計	1,831	1,809	▲1.2%	
全社費用含む調整額		▲600	▲529	-	アグリ
営業利益		1,231	1,280	+4.0%	

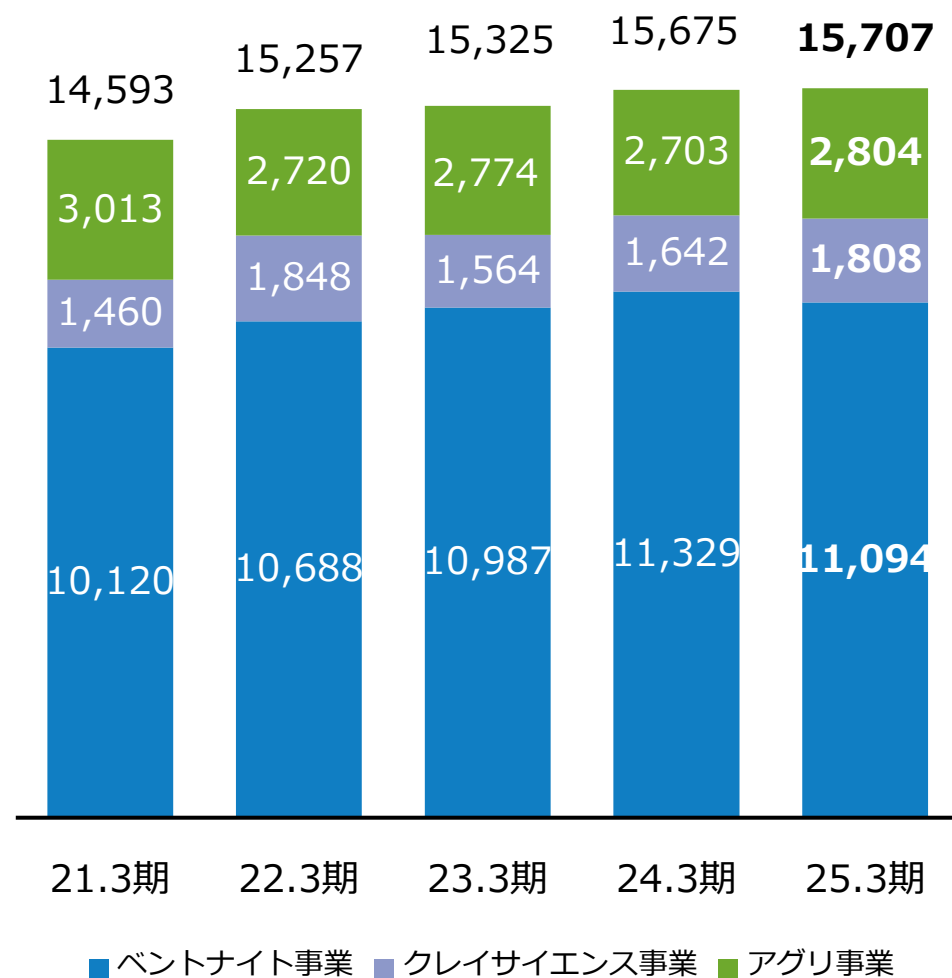
- 素形材分野での得意先販売数量減を主因に減収減益

- 輸出向け需要は若干減少となったものの、前期から取り組みを進めている価格改定効果により増収増益

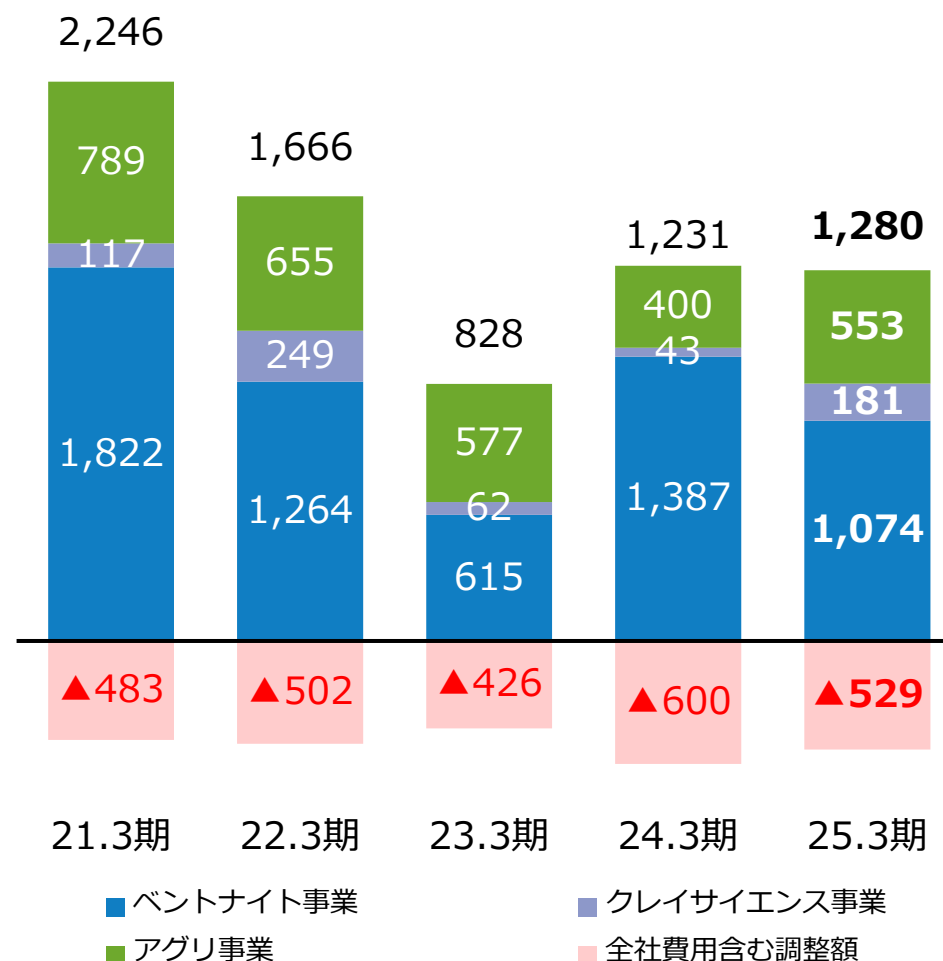
- 種子コーティングの伸長や除草剤が好調に推移したことにより増収増益

補. 事業別業績推移

(百万円) 事業別 売上高推移



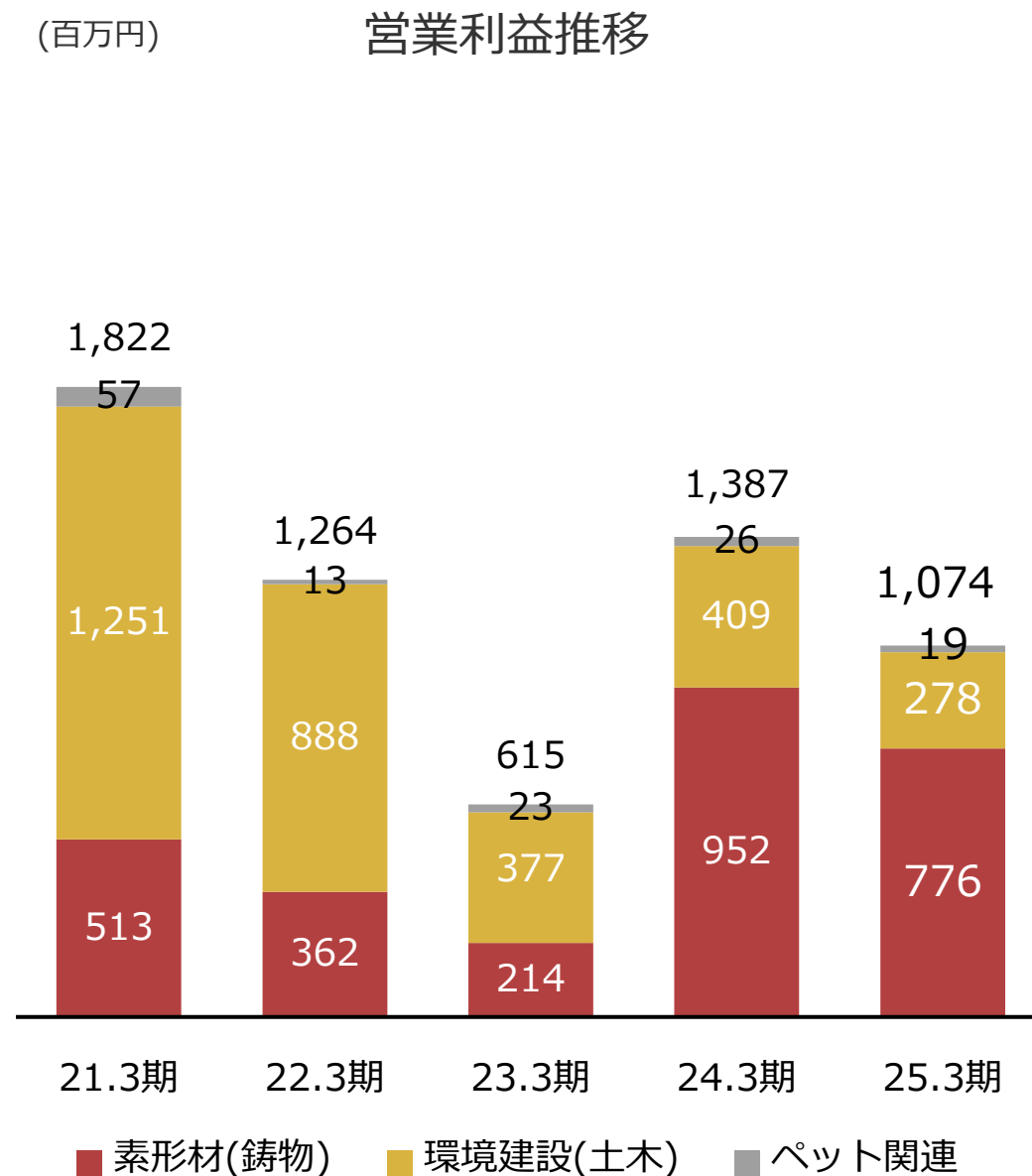
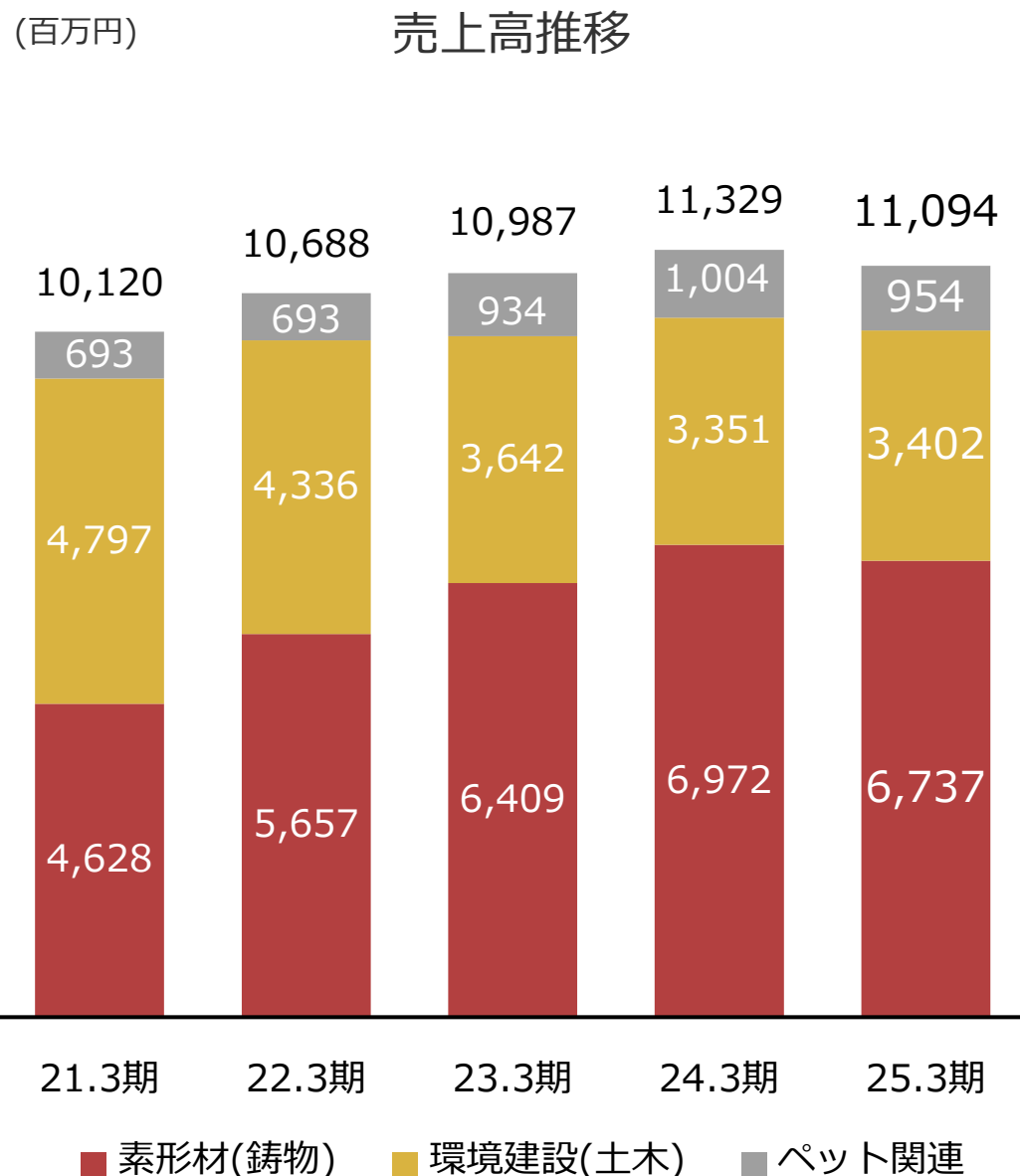
(百万円) 事業別 営業利益推移



ベントナイト事業 分野別業績

(百万円)		24.3期	25.3期	前年 同期比	概要
分野別 売上高	素形材(鋳物)	6,972	6,737	▲3.4%	素形材(鋳物) ● 建機・トラック向け主 要得意先の減産影響に より減収減益
	環境建設(土木)	3,351	3,402	+1.5%	
	ペット関連	1,004	954	▲5.0%	環境建設(土木) ● 下期に地熱発電向け需 要が回復し増収となっ たが、一般土木工事案 件の低調に加え、 採掘費上昇により減益
	合計	11,329	11,094	▲2.1%	
分野別 営業利益	素形材(鋳物)	952	776	▲18.5%	ペット関連 ● 品目整理を進め収益性 向上を図ったが、採掘 費上昇により減収減益
	環境建設(土木)	409	278	▲32.0%	
	ペット関連	26	19	▲26.9%	
	合計	1,387	1,074	▲22.5%	

補. ベントナイト事業 分野別業績推移



2025年3月期 貸借対照表の概要

2024年3月期末
総資産 25,228百万円

+610
百万円

2025年3月期末
総資産 25,839百万円

(百万円)

流動資産	2,118	流動負債
	1,242	固定負債
16,821	純資産※1	
	21,867	
固定資産	自己資本比率	
8,406		
	84.0%	

※1：非支配株主持分は665百万円

流動資産：
現金同等物 8,242

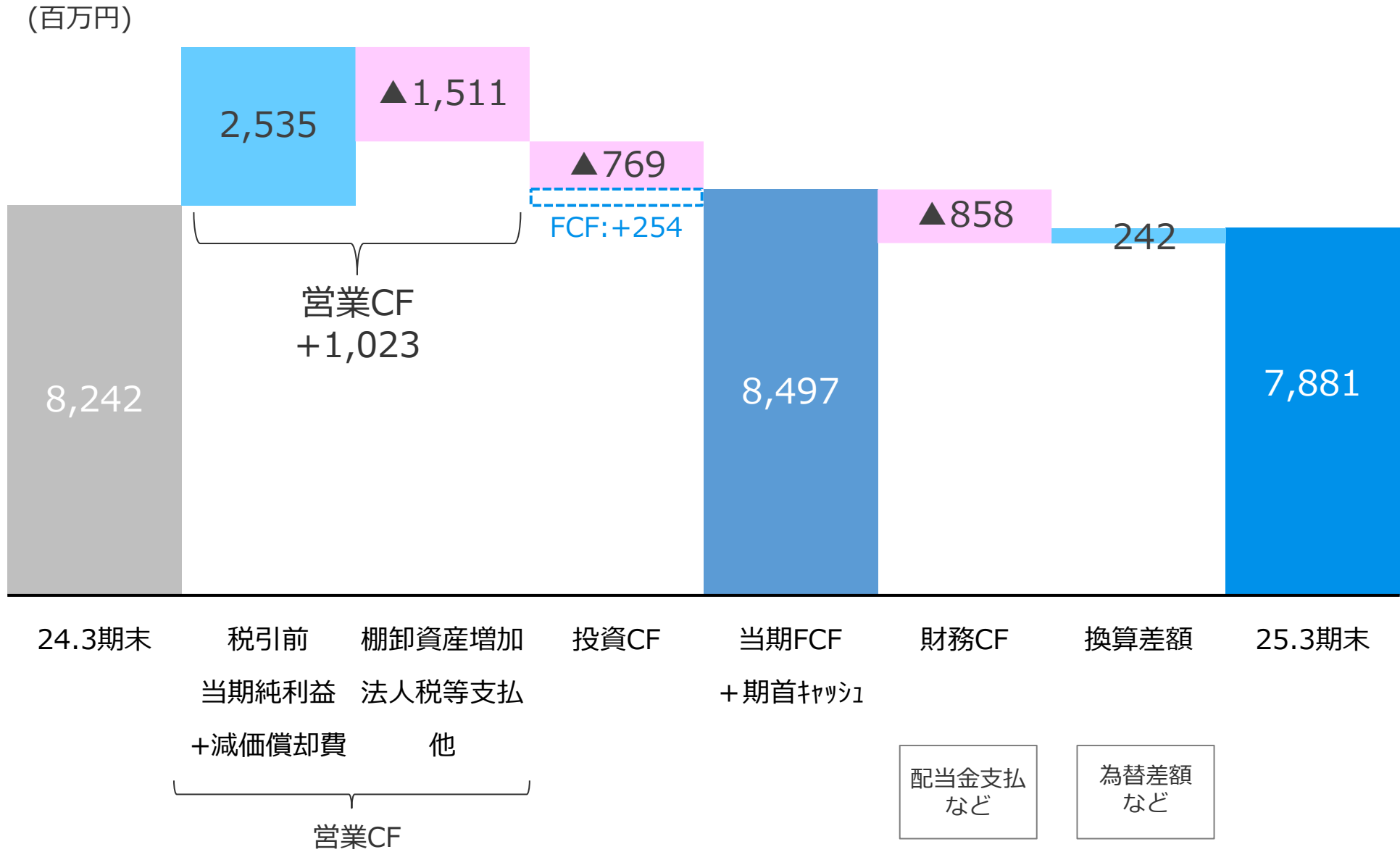
(百万円)

流動資産	2,243 +125	流動負債
	1,243 +1	固定負債
17,399 +578	純資産※2	
	22,351 +483	
固定資産	自己資本比率	
8,439 +32		
	83.4%	

※2：非支配株主持分は805百万円

流動資産：
現金同等物 7,881

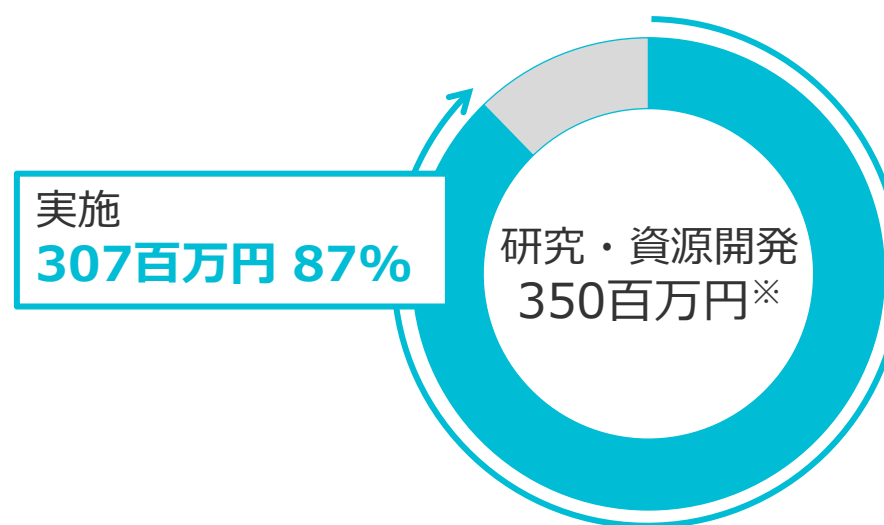
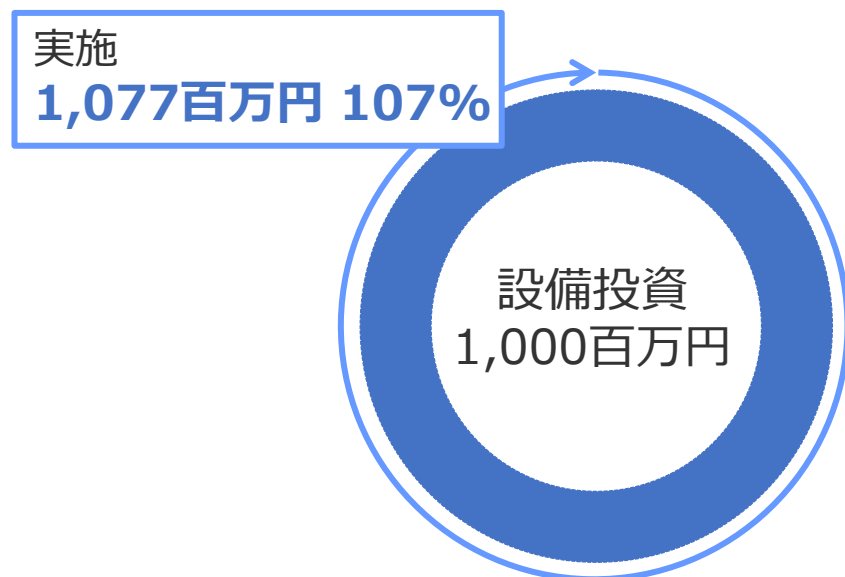
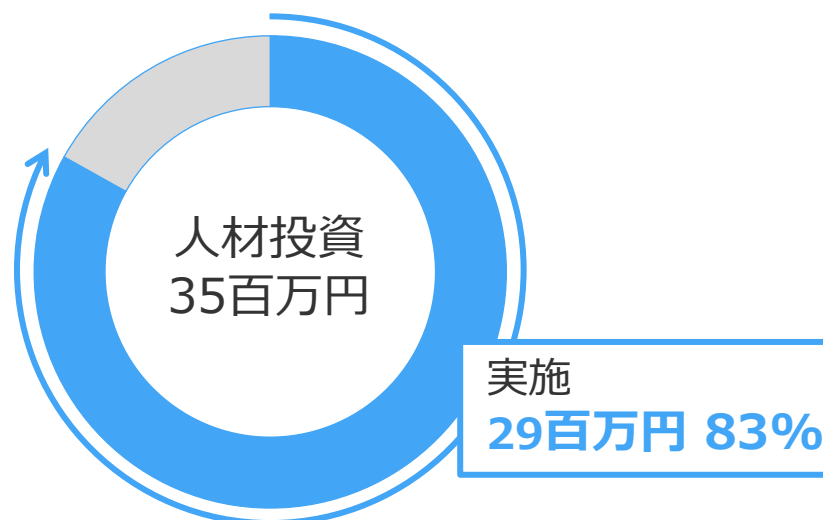
2025年3月期 キャッシュフロー概要



投資計画の状況

■ 実施内容および予定

種類	予算	内容
人材投資	35 百万円	・役職階層別研修 ・AI研修
設備投資	1,000 百万円	・生産性向上 ・システム刷新
研究・資源 開発	350 百万円	・資源開発探査 ・採鉱技術開発 ・新製品開発



※ 採掘機器の試作機制作費用含む

3/5

2026年3月期 業績予想

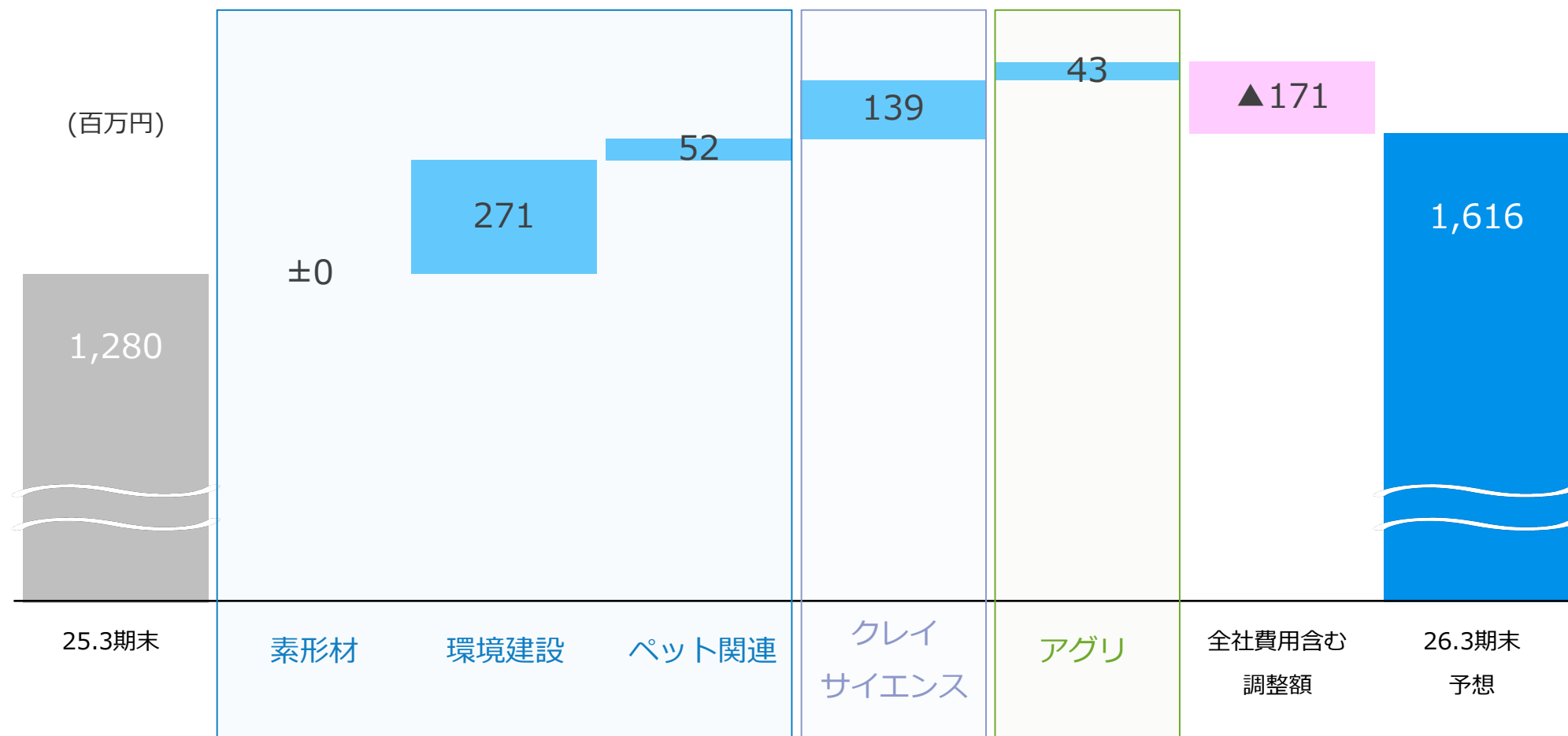
取締役経営戦略部長 高田裕二

2026年3月期 通期業績予想

- 各セグメントにおいて高付加価値製品への注力や機動的な価格戦略を継続し、増収増益を見込む

(百万円)	2025年 3月期	2026年 3月期予想	前年同期比
売上高	15,707	16,921	+ 7.7%
営業利益	1,280	1,616	+ 26.2%
経常利益	1,583	1,840	+ 16.2%
親会社株主に帰属 する 当期純利益	1,078	1,274	+ 18.2%

セグメント別 営業利益増減要因 (予想)



ベントナイト+324百万円

低レベル放射性廃棄物案件向けの出荷開始・
地熱ボーリング向け需要の復調(環境建設)

クレイサイエンス+139百万円

化粧品用途向け販売数量増・価格改定効果

アグリ+43百万円

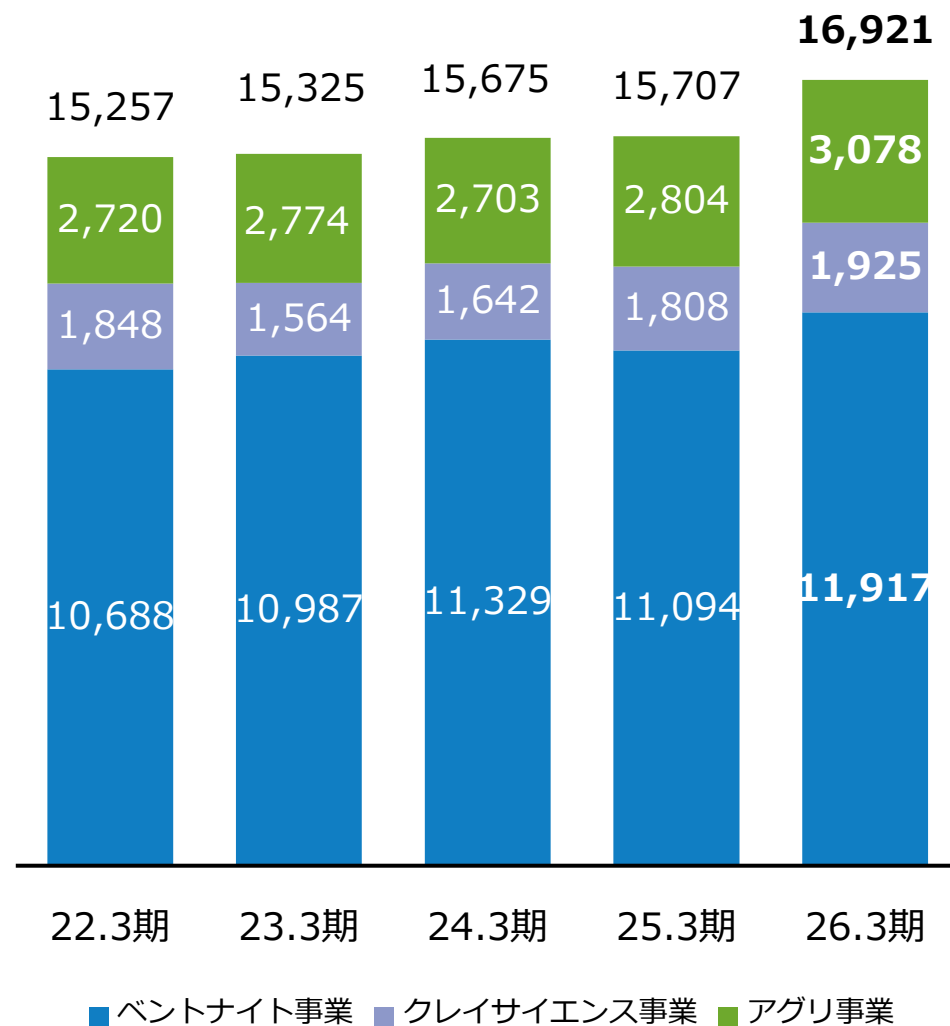
種子コーティング伸長・価格改定効果

全社費用含む調整額

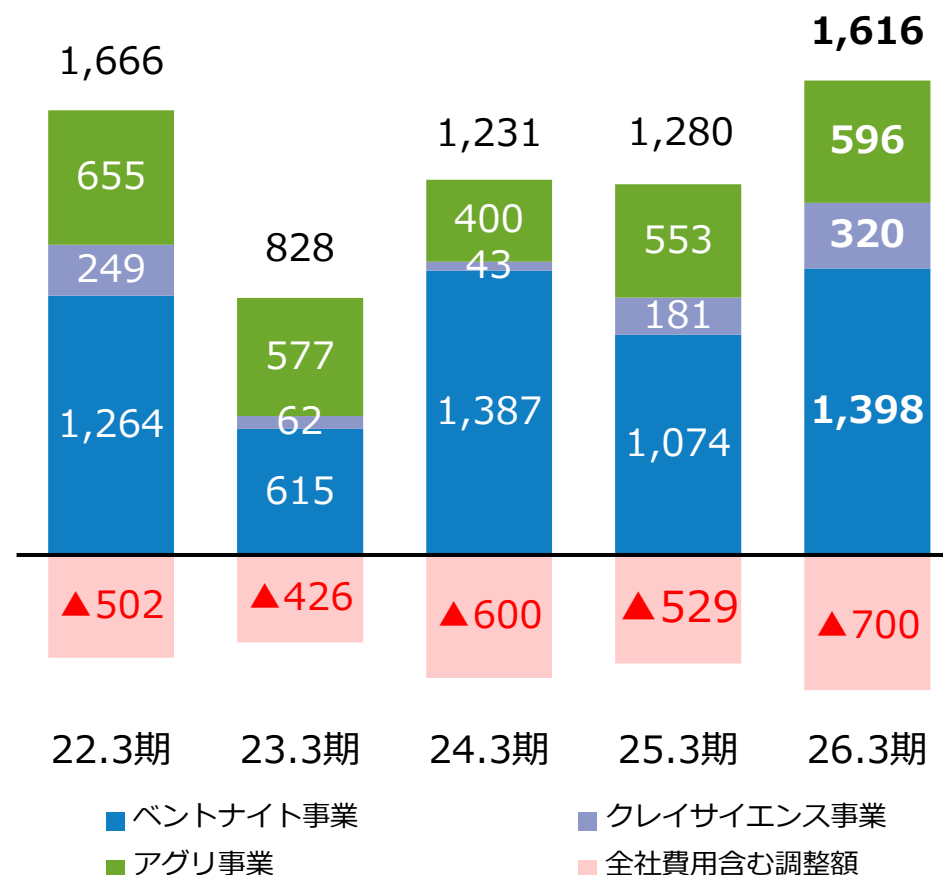
新基幹システム導入に伴う関連費用の増加

補. 事業別業績推移 (予想)

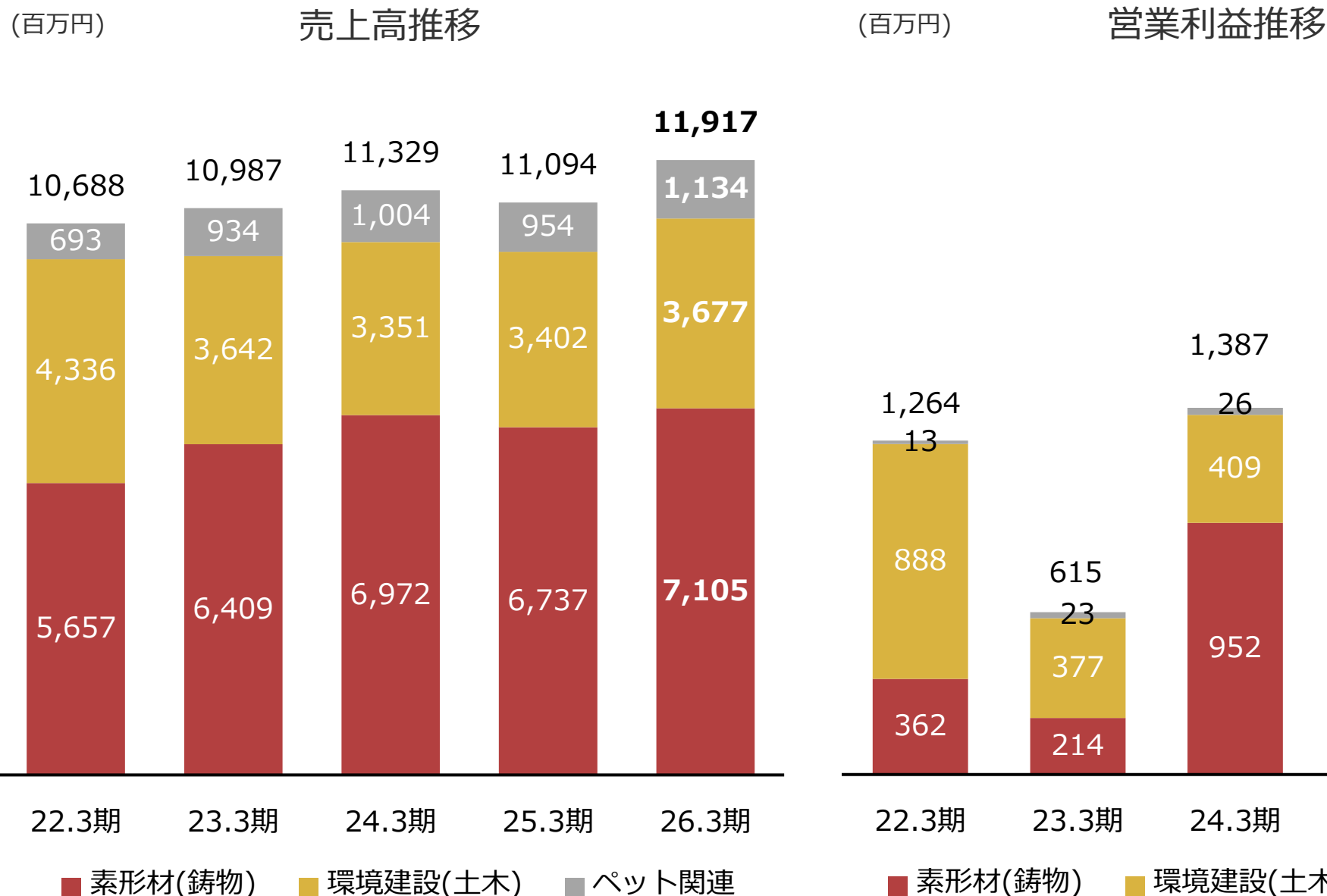
(百万円) 事業別 売上高推移



(百万円) 事業別 営業利益推移



補. ベントナイト事業 分野別業績推移（予想）



補. セグメント別 上期下期別業績予想

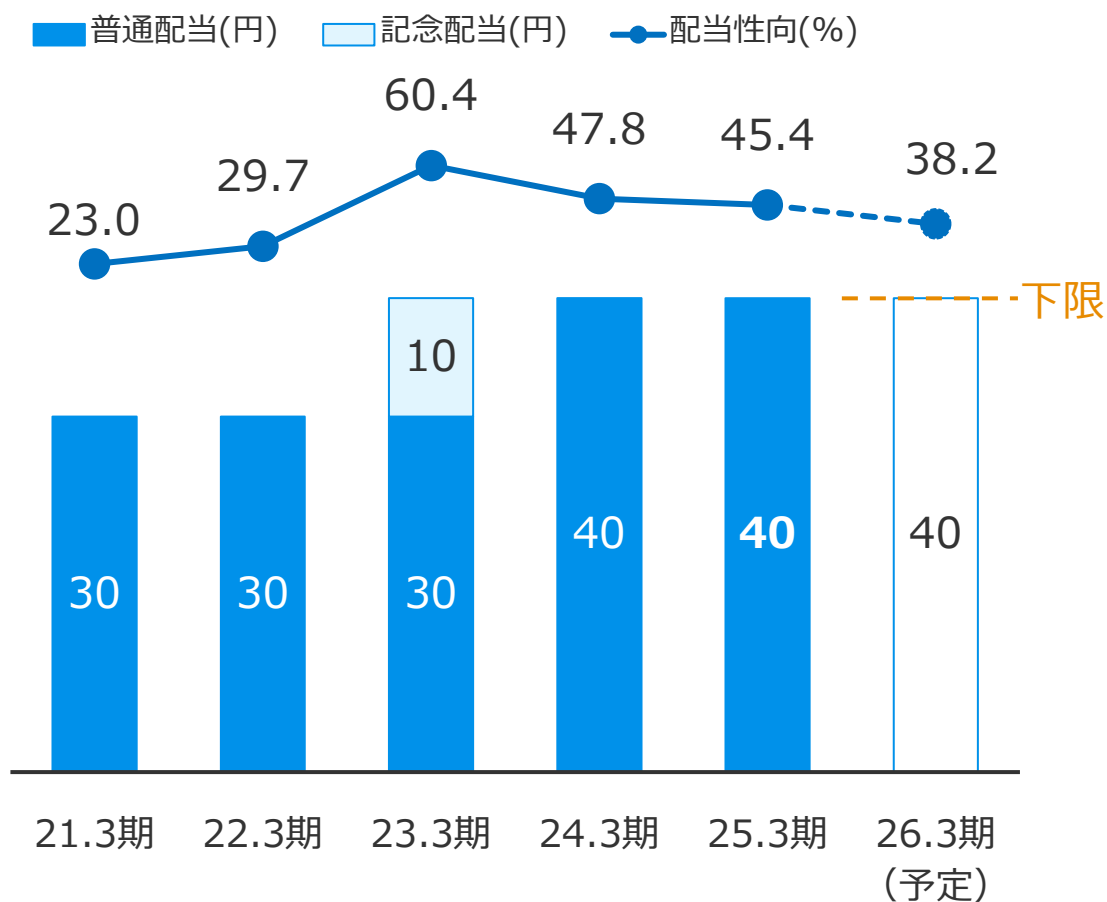
(百万円)		25.3期 (上期)	25.3期 (下期)	合計	26.3期 (上期)	26.3期 (下期)	合計
素形材(鋳物)	売上高	3,304	3,433	6,737	3,486	3,619	7,105
	営業利益	408	368	776	354	423	777
環境建設(土木)	売上高	1,648	1,754	3,402	1,674	2,003	3,677
	営業利益	116	162	278	212	337	549
ペット	売上高	460	494	954	521	613	1,134
	営業利益	16	3	19	12	59	71
ベントナイト計	売上高	5,413	5,681	11,094	5,682	6,235	11,917
	営業利益	541	533	1,074	579	819	1,398
クレイサイエンス	売上高	1,016	792	1,808	964	961	1,925
	営業利益	193	▲12	181	158	162	320
アグリ※	売上高	934	1,870	2,804	964	2,114	3,078
	営業利益	▲18	571	553	113	483	596
全社費用含む調整額	—	▲254	▲275	▲529	▲312	▲388	▲700
グループ計	売上高	7,364	8,343	15,707	7,611	9,310	16,921
	営業利益	461	819	1,280	538	1,078	1,616

※ 農薬需要の季節変動により下期に収益が偏重

株主還元方針

- 当社グループは「株主の皆様に対する安定的な利益還元」を経営の最重要課題のひとつとしており、継続的な利益還元に努めてまいります
- 26.3期も継続して、1株当たり15円の間配当、25円の期末配当を予定しております

配当金・配当性向推移



配当の具体的方針

- ✓ 配当性向30%を目安
- ✓ 1株当たり配当金の下限を40円に設定
- ✓ 中間配当の実施（24.3期より）

安定配当を継続し、中長期的には
利益向上による増配を目指してまいります

4/5

中期経営計画の状況

取締役経営戦略部長 高田裕二

基本方針

資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する

基本戦略

カーボンニュートラル・国土強靱化関連 静脈産業への取組み

- 地熱発電事業／放射性廃棄物処理事業への注力（環境建設分野）
- 森林整備事業（アグリビジネス分野）
- インフラ整備事業（国土強靱化）の取込み（環境建設分野）

新規事業領域拡大

- 種子コーティング技術（アグリビジネス分野）
- ガスバリア材料（ファインケミカル分野）

海外市場展開・海外鉱探査

- 素形材分野、ファインケミカル分野、ライフサイエンス分野のアセアン市場展開
- 高品質原鉱の安定調達に向けた海外鉱利用

企業体質強化

- 人的投資強化(教育＋待遇面)
- ESG経営及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 新鉱区開発、新採掘法開発

中期経営計画 最終年度目標値見直し

- ベントナイト事業において、環境建設分野の低レベル放射性廃棄物処理案件の遅延や、素形材分野における米国の自動車関税引き上げの不確実性を考慮
- アグリ事業において、主に種子コーティングの立ち上がりの遅れ

	(百万円)	23.3期 実績	24.3期 実績	25.3期 実績	26.3期 当初計画	26.3期 修正計画
クニミネ工業	売上高	15,325	15,675	15,707	18,000	16,921
	営業利益	828	1,231	1,280	2,000	※ 1,616
ベントナイト事業	売上高	10,987	11,329	11,094	12,800	11,917
	営業利益	615	1,387	1,074	1,600	1,398
クレイサイエンス事業	売上高	1,564	1,642	1,808	1,800	1,925
	営業利益	62	43	181	200	320
アグリ事業	売上高	2,774	2,703	2,804	3,400	3,078
	営業利益	577	400	553	800	596

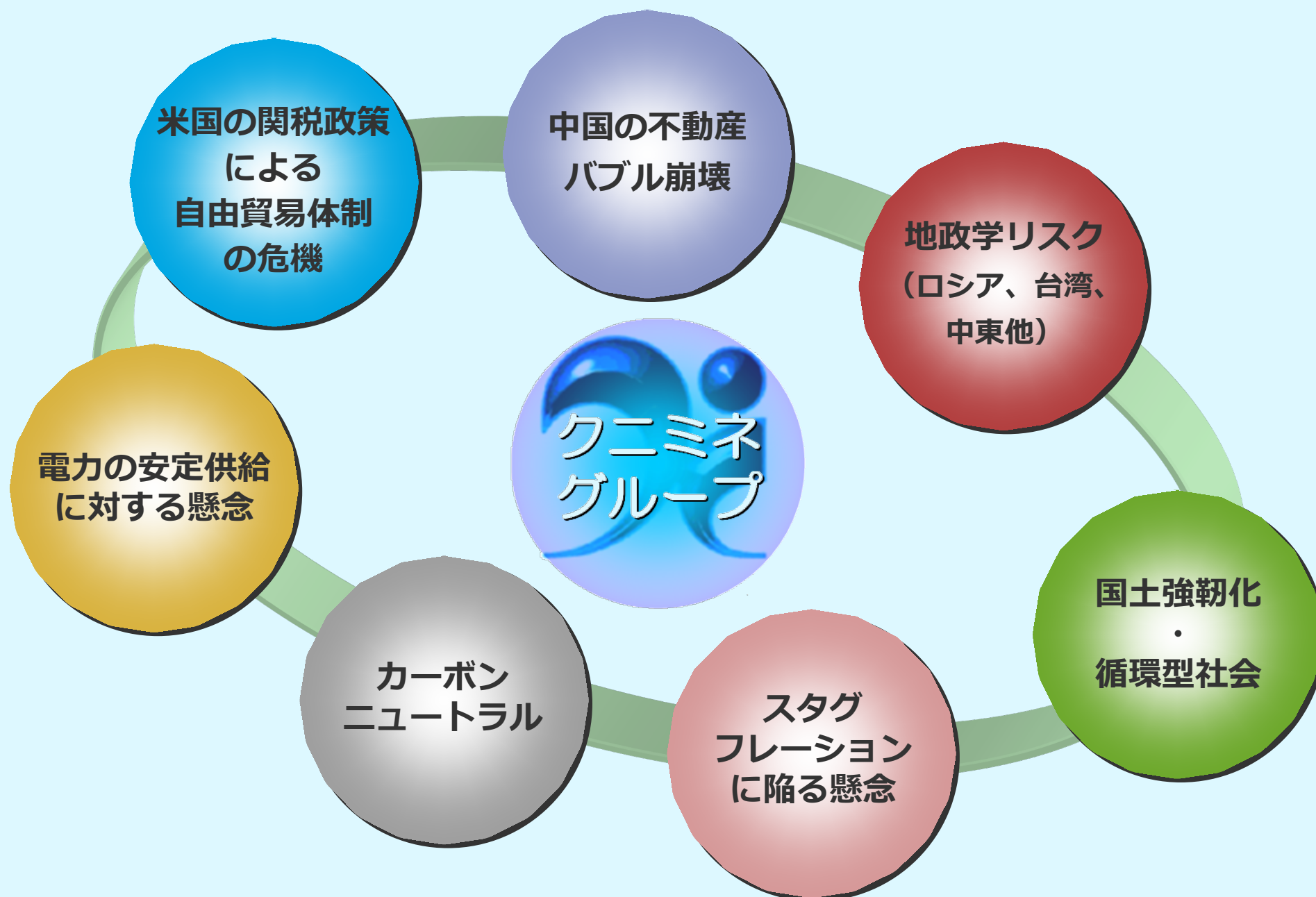
※ 全社費用に▲700百万円を見込む

5/5

当社を取り巻くマクロ環境

代表取締役社長 國峯保彦

当社を取り巻くマクロ環境



質疑応答

補足資料

サステナビリティへの取り組み

■ 当社グループにおけるサステナビリティの考え方・基本方針

クニミネ工業グループは『経世済民』の経営理念を掲げ、貴重な地下資源であるベントナイトを中心に、高付加価値商品やサービスの展開により基幹産業を支え、国の繁栄に貢献してまいりました。

当社グループが中核事業として取り扱うベントナイトは、自然環境への負荷が少なく、生命体と環境にやさしい無機鉱物です。この貴重な資源を科学し、未来のニーズを創造することで、社会への価値を提供していきたいと考えています。

当社グループの技術を活用して、廃棄物処理などの社会課題の解決や、新たな産業を支援・創出していくことがESGへつながる取り組みと考えており、事業活動を通じて社会的な目標であるSDGsの達成を目指しております。

環境（E）

● 環境へ配慮した取り組みを進めてまいります

- ・ 自社CO2排出量の低減
- ・ 循環型社会の実現を目的とした静脈産業への貢献
- ・ 持続可能な社会に向けた製品の一層の研究・開発の促進



社会（S）

● 人材投資の強化、労働環境を整備し、地域社会に貢献してまいります

- ・ AI教育やRPA研修の推進など人材投資の強化
- ・ 女性活躍推進法の推進
- ・ 育児・介護休暇、年次有給休暇等の取得推進
- ・ 高齢者雇用安定法に適切に対応し、長く働ける環境の整備
- ・ 各拠点の経済活性化のため、地元の自治体や企業との協力



ガバナンス（G）

● リスクマネジメントを強化し、持続可能な経営を目指します

- ・ 取締役会の監査・監督機能の一層の強化のため、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行
- ・ 取締役会の機能の一層の向上を図るため、取締役会の実効性評価を開始
- ・ 内部通報制度の実効性向上のため、独立した社外の内部通報窓口を設置
- ・ 取締役会の透明性を更に向上させるため、独立役員を1名増員して4名体制に(4名/11名)



サステナビリティ関連事業機会目標値

- 当社グループでは、サステナビリティに関連する事業機会として『重金属、放射性廃棄物処分事業』『地熱発電事業』『農林水産振興事業』を重要事業機会と捉えて営業活動の強化、CO2排出量の削減、関連する研究開発投資、設備増強投資に注力して参ります
- 2026年3月までの目標値に、以下内容を掲げております

	関連売上高	関連設備投資	CO2削減量
2024年 3月期 実績	371百万円	127百万円	▲4,081t
	+	+	+
2025年 3月期 実績	357百万円	16百万円	▲3,072t
	↓	↓	↓
2026年 3月期までの 目標 (3年累計値)	2,320百万円	300百万円	▲3,000t

人材の多様性確保・育成に関する目標値

- 当社グループは、性別・年齢・国籍・人種・宗教・障害の有無・性自認および性的指向等に関わらず、社員一人ひとりが、感受性や価値観等の違いを尊重し、企業価値向上および社会貢献を目指す社内制度構築および環境整備を推進し、多様性を新たな発想、視点へとつなげ、組織横断的に連携し、イノベーションに向けて突き進んでいく集団を作り上げることを目指します
- 2026年3月までの目標値に、以下内容を掲げております

	24.3期実績		25.3期実績		26.3期目標
キャリア支援制度利用数	33件	→	52件	→	45件
e-ラーニング利用数※1	55.0回	→	46.0回	→	80.0回
エンゲージメントサーベイスコア※2	61点	→	64点	→	68点
女性管理職数	1人	→	2人	→	4人
平均勤続年数※3	11.9年	→	12.0年	→	13.0年
重大労働災害発生件数※4	0件	→	1件	→	0件

※1：株式会社Bizアップ総研が提供するオンライン研修サービス「e-jinzai」への月毎のアクセス数の平均。同一講座の重複受講及び全体教育は除外。

※2：調査には(株)アトラエが提供する「wevox」を利用、「自己成長への支援」を集計

※3：役員・短期臨時員・パートタイマーを除く

※4：重大労働災害：死亡、負傷又は疾病により、障害等級第1～7級に該当した労働災害

カーボンニュートラルに向けた取組み

● カーボンニュートラルに向けた中長期的対応

- 中期的な対応（～2030年）はCO2削減を重点課題とし、太陽光パネル・水力発電(小規模)・高効率燃焼設備・各種省エネ機器等のあらゆるエコ設備の導入を、可能な限り進めていく
- 長期的な対応（～2050年）では、Scope1のCO2削減に向け、原鉱の採掘段階から見直しを進めていく。具体的には原鉱の含水率低減を狙いとし、採掘技術・細粒化技術の高度な開発を進めることで製造工程の大幅な見直しを図る。加えてコストダウンも進め、競争力強化にもつなげていく

Scope2 排出量目標：ゼロ
(全体排出量は、20.3期比較で 40%削減)

Scope1 排出量目標：ゼロ

中期的対応（～2030）

長期的対応（～2050）

- 高効率燃料への切替え
- 環境低負荷製品へのシフト
- CO2フリー電力切替/太陽光パネル導入
- エコ設備（EV・LED照明等）の導入

- 原鉱採掘・細粒化技術の高度化
- 技術革新燃料(水素/人工メタン) への切替え
：カーボンフリー燃料

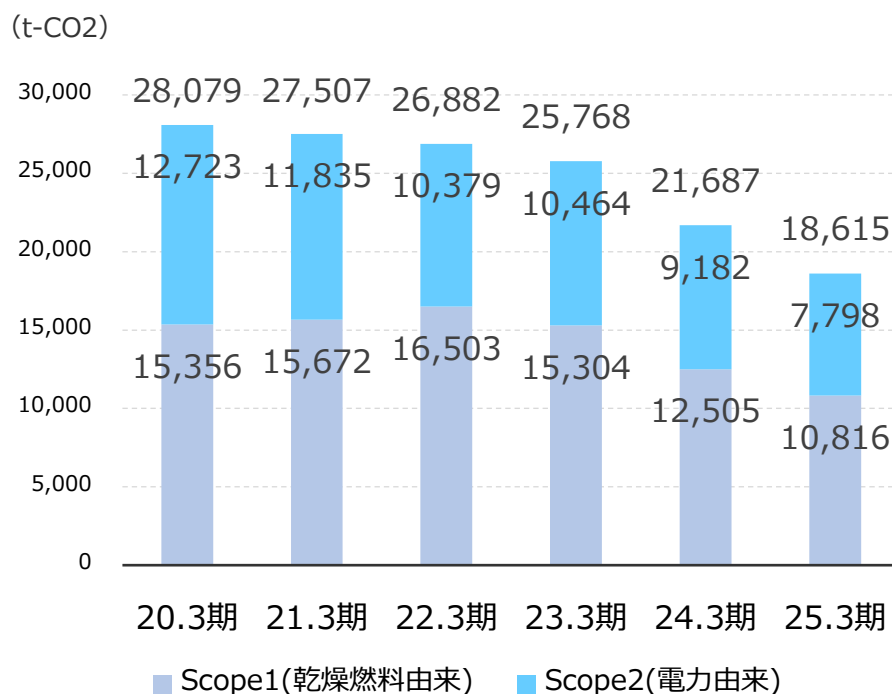
● Scope1
● Scope2

領域	25.3期までの取組み内容
Scope1	● 高効率燃料への切替（いわき工場：灯油→LNG）
Scope2	● 車両（社用車/フォークリフト）のEV・HV化
	● 工場照明（水銀灯）、事業所居室照明LED化
	● 太陽光パネルの設置（工場屋根等）、CO2フリー電力切替

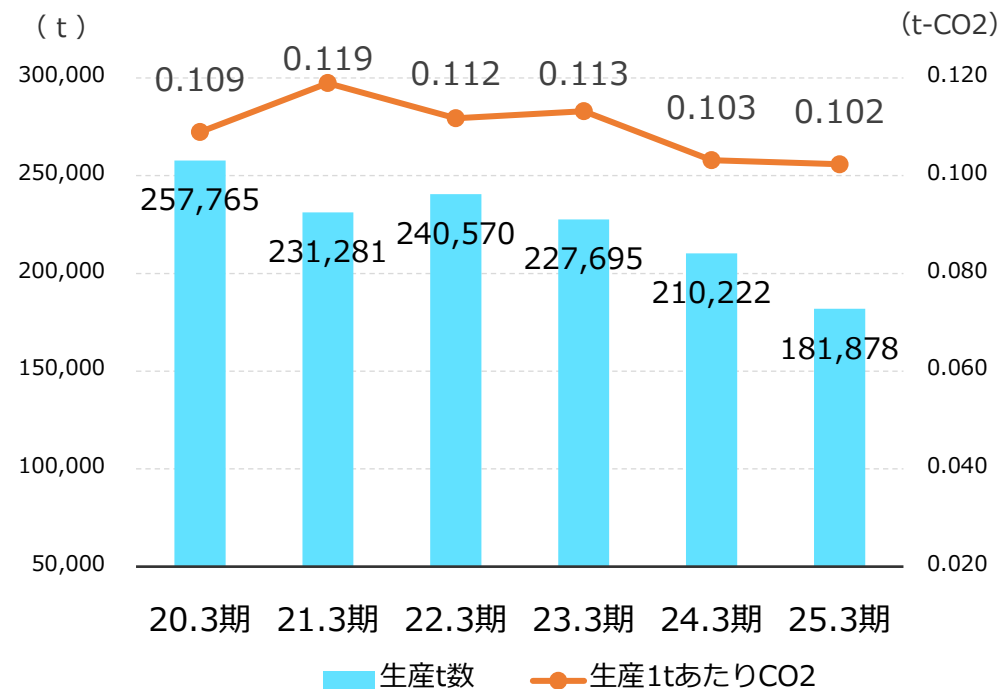
当社グループCO2排出量の状況

- 25.3期の当社グループCO2排出量は、前期比▲3,072t-CO2となり大幅に削減
製品あたりの排出量も継続して減少
- 今後もカーボンニュートラルの達成に向け、CO2排出量削減を進めていく

当社グループCO2排出量推移 (Scope1.2)



製品生産量・生産単位あたりCO2排出量 推移



* Scope 1 : 製造等での燃料使用によるCO2直接排出
 * Scope 2 : 購入した電気の使用によるCO2間接排出
 * 各数値は省エネ法に基づく定期報告値より作成

新しい取り組み

■ 日本オープンイノベーション 大賞「文部科学大臣賞」を受賞

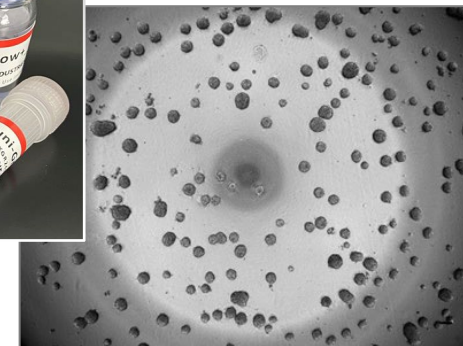
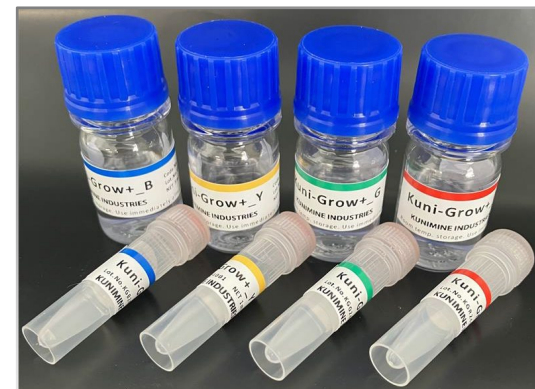


大阪大学大学院薬学研究科 辻川和丈教授との「粘土鉱物を利用した新たな3次元細胞培養システム」についての共同研究の取り組みが「文部科学大臣賞」を受賞しました。

当社が長年にわたり培ってきた技術ノウハウを生命科学の分野に適応し、3次元細胞培養における課題の解決に貢献する取り組みに対して、アイデアの斬新さ、3次元細胞培養技術の確立・販売に至った実績が高く評価されました。

具体的な研究内容については、本頁右側に記載しております。

■ 3次元細胞培養向け研究用試薬



3次元細胞培養向け研究用試薬「Kuni-Grow+」を昨年5月に販売開始いたしました。

本製品は、細胞培養において3次元培養を簡便に行うための添加剤として使用します。専用の培地や培養容器は不要で、従来の2次元培養向けの基本的な培地に添加するだけで培地中の成長因子（血清タンパク質など）を吸着し、細胞に作用することでスフェロイドの形成を短期間（数日～1週間程度）で可能とする革新的な試薬です。大学機関等との共同研究において、がん細胞をはじめとした様々な細胞種でのスフェロイド形成が確認されております。

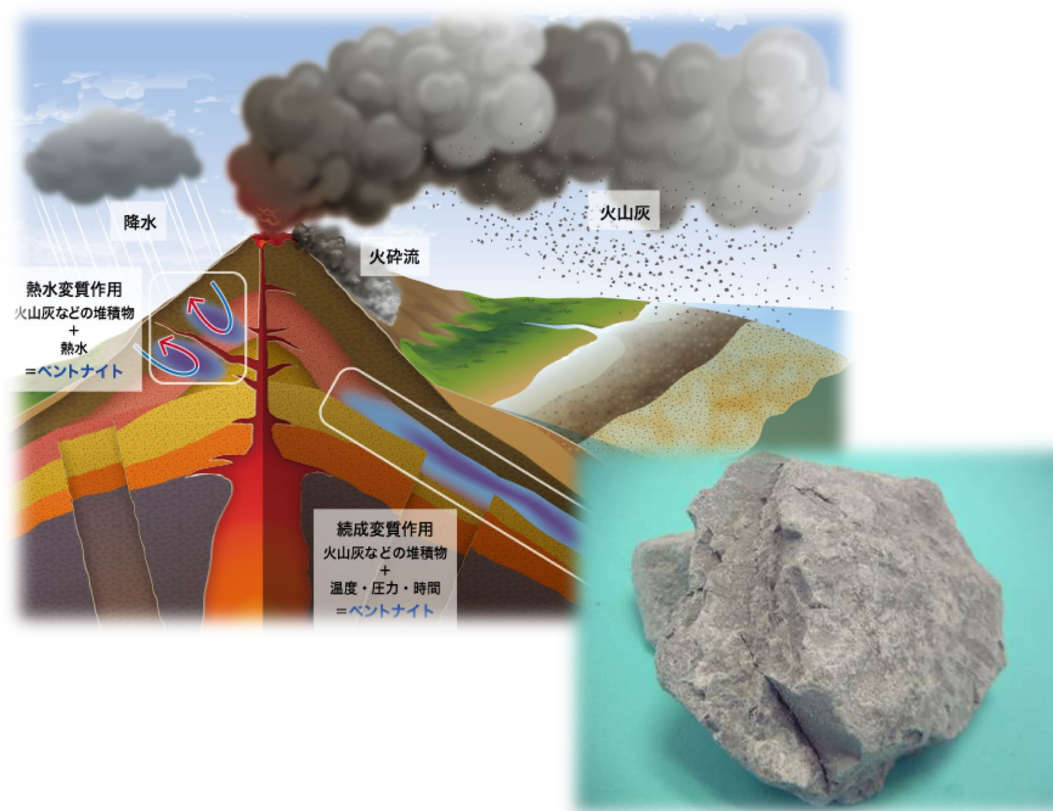
本製品の販売を契機として、創薬支援ビジネス領域で本技術の普及拡大を目指し、成長が期待される細胞培養分野での事業拡大を図ってまいります。

●ベントナイトとは？

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

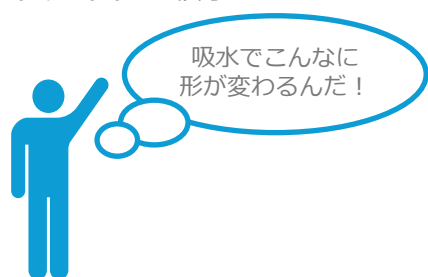
ベントナイトは、水中で吸収すると膨潤し、さらに分散させると粘性を示します。また、各種陽イオンを吸着できる能力など、様々な特性を持っています。

このような特性を有していることから、鋳物、土木建築、ペット用トイレ砂や化成品など、利用される産業分野は非常に多岐にわたっています。そのため、ベントナイトは“1,000の用途を持つ粘土”とも称されています。

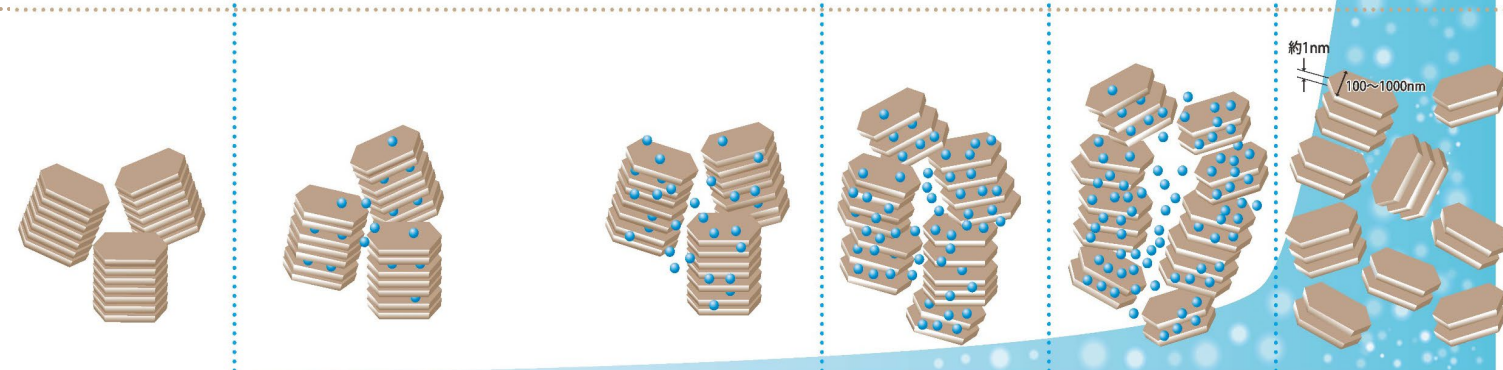
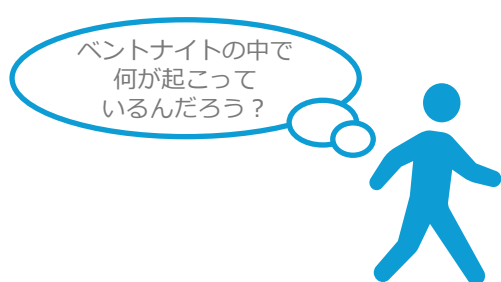


参考資料 ベントナイトの用途

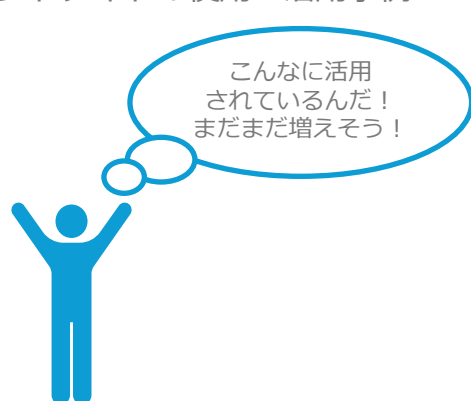
● ベントナイトの吸水



● モンモリロナイトの吸水 (イメージ図)



● ベントナイトの使用・活用事例



素形材(鋳物)



自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材として砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。

また、鋳物工場で排出される集塵ダストから重金属の溶出を防ぐ用途にもベントナイトが活用されています。

素形材分野では、ベントナイト製品の販売のみではなく、黒磯研究所での鋳物砂分析などを通じて、歩留まりの改善などお客さまの様々なニーズに応える当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。



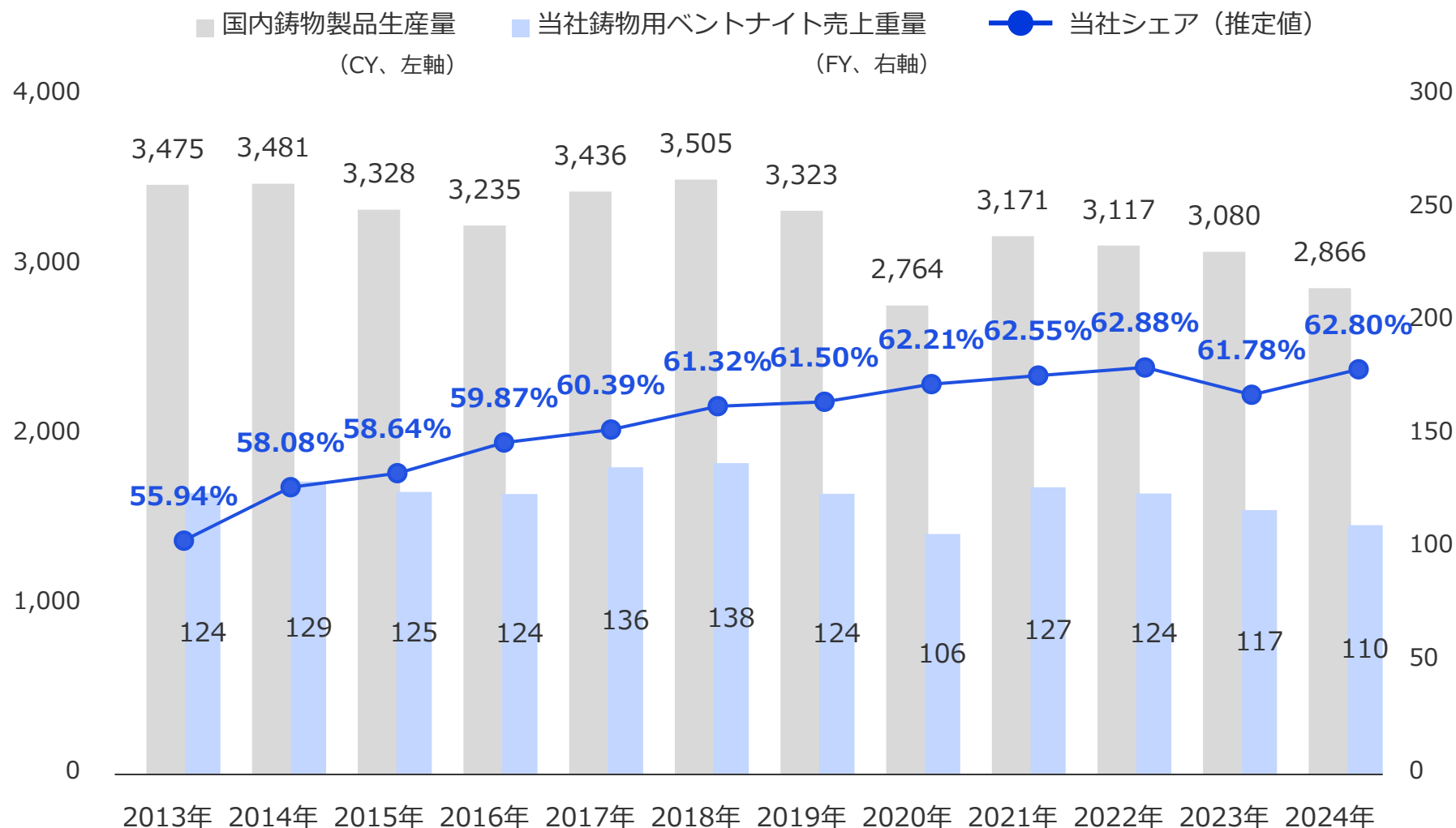
主力商品

- クニゲルVAS ●クニボンドTY ●ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ ●「クニボンドTY」シリーズ
- クニフォース

参考資料 素形材分野 国内シェア推移

(単位：千t)

(単位：千t)



出所：一般社団法人日本鋳造協会
銑鉄鋳物製品別生産量

※鋳物製品生産量より国内ベントナイト使用量を当社基準で推定し、シェアを算出

環境建設(土木)

ベントナイトの持つ増粘性、遮水性を活かして、建物の基礎となる杭を形成するアースドリル工法や、一般廃棄物処分場での遮水工事にベントナイト混合土が用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用されています。

今後、脱炭素化への流れを受けて、地熱発電や海底資源掘削等のボーリング需要も期待されます。更には、低レベル放射性廃棄物処理用途など、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れるベントナイトのニーズが高まっております。

引き続き、国土強靱化に向けた国内主要インフラ整備事業への継続的な取組みに加えて、廃棄物処分関連や地熱発電事業への積極的な営業活動を展開してまいります。



「クニシール」

主力商品

- クニゲルV1 ●クニゲルV2 ●クニゲルGS ●クニゲルGT
- クニキャップTG ●クニシール ●クニシート ●クニフォースPX

ペット関連



当社新ブランド「RAGDOLL」公式Instagram



ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ迅速な対応を図ってまいります。



主力商品

- RAGDOLL プレミアムサンド ●天然ジビエペットフード
- 猫砂1番 ●猫砂1番金印 ●猫砂1番大粒

ファインケミカル

独自の製法により天然ベントナイトを精製した「クニピア」、合成技術によって作り出された粘土「合成スメクトン」、さらに合成スメクトンの親水性質を親油性へと改質した「有機化スメクトン」など高機能製品を販売しております。また、ゴミ焼却場の排ガス処理工程において使用される「環境保全処理剤」も当部にて取り扱っております。

ファインケミカル分野における「クニピア」や「スメクトン」は、高純度と特徴づけられる素材の強みを活かし、セラミックス、塗料、樹脂といった工業製品に機能性材料として利用されています。さらに近年は、イオン交換技術をはじめとする、粘土の機能特性をさらに引き出すための技術開発に積極的に取り組んでおり、更なる用途拡大を目指しております。

主力商品

- 「クニピア」シリーズ ● 「スメクトン」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ ● 環境保全処理剤



ライフサイエンス

「飼料添加物」用途においては、当社ベントナイトがカビ毒吸着能に加え、たんぱく質毒素も吸着する効能を生かし、畜産業界における治療から予防医療へのニーズシフトへ対応するとともに、今後は「動物医薬」用途なども開拓してまいります。

また、当社ベントナイトはクレイの一種として、増粘効果だけでなく吸着剤、乳化安定剤、保湿剤などの成分として多くの化粧品に採用されています。現在、天然由来の化粧品原料が注目を浴びており、精製ベントナイトのクニピアシリーズはCOSMOS APPROVEDを取得いたしました。最近では当社独自の精製技術を用いて、ベントナイトからモンモリロナイトを99%以上抽出した高純度クニピア「クニピア-RF」を上市いたしました。

自然の恵みであるクレイと私たちのテクノロジーを融合し、安心してお使いいただける製品を世界中へお届けしていきます。



主力商品

- クニボンドRT
- ダブルボンド ●ダブルフリー ●土壌改良剤
- クニミネ「ペプチオン®」
- 「クニピア」シリーズ

アグリビジネス

製剤技術に強みを持つ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

今後もITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足度の向上を目指してまいります。



主力商品・サービス

- 農薬受託加工
- クレー細粒剤 ● クニゲルV1 ● 天竜
- 「クニピア」シリーズ ● 「スメクトン」シリーズ

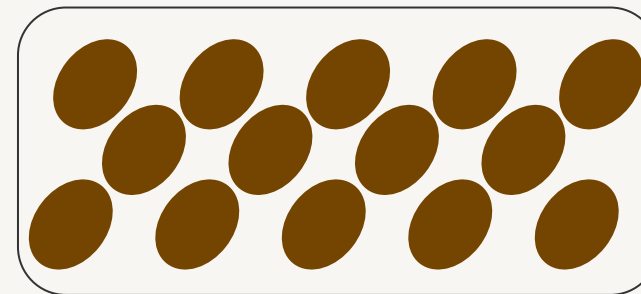
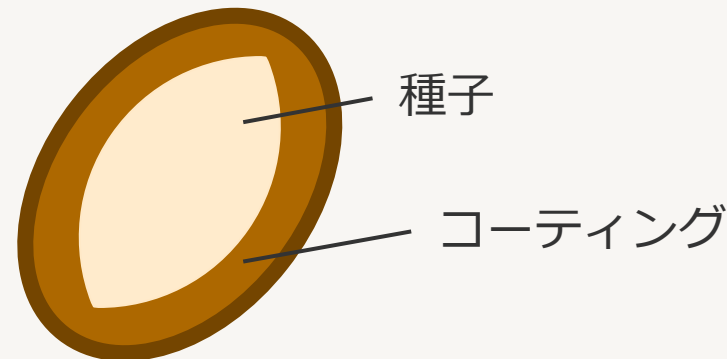
● 種子コーティングとは？

種子の表面にさまざまな物質をコーティング（被覆）する農業技術であり、発芽や初期生育を助ける目的で行われる。

特に、当社が加工技術を提供している水稻では、種子コーティングの活用により
※直播栽培の普及が促進され、農業生産の省力化・コストダウンにつながる事が期待されている。

※直播栽培…苗を育てず種を田んぼや畑に直接撒く栽培方法

【イメージ図】



ご視聴ありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

IRお問合せ先

<https://www.kunimine.co.jp/toiawase/ir.html>